



11月の園だより

令和7年10月28日
杉並区立成田西子供園
園長 齋藤 由美

『我が子の成長を考える機会に』

園長 齋藤 由美

秋の風が心地よく感じられる季節となりました。園庭では、子どもたちが、運動会の余韻を楽しみながら、走ったり踊ったりと元気に笑顔いっぱいにご遊んでいます。運動会“不思議の森のフェスティバル”には、大勢の方にご参加いただきありがとうございました。子どもたちは、日々の取り組みの成果を発揮し、一人ひとりが力いっぱい頑張る姿を見せてくれました。保護者の皆様には、温かい応援はもちろん、競技への参加、最後の片付けまでご協力をいただき心より感謝申し上げます。また、アンケートでも多くのご意見や感想をいただきました。何より子どもたちの成長をたくさん感じていただけたこと、そして一緒に喜んでいただけたことを、とても嬉しく思っています。

さて、毎年9月から10月にかけて、来年度の入園申し込みに向けて大勢の方が園の見学にいらしゃいます。お子さんの将来を思い、最善の環境を選びたいというお気持ちは、親として当然です。その中で本園を選んでくださった保護者の皆様、心よりうれしく思います。皆様の願いを受け止め、一緒に子どもたちの成長を見守ることができることを、職員一同誇りに思っています。園見学にいらした方には、施設の紹介だけでなく子どもたちの主体的に遊んでいる姿を見ていただき、その中で子どもたちが経験していることとお話させていただいています。

幼児期は、遊びや生活の中で心や体をたくさん動かしたり、人との関わりを通して様々なことを感じたりし、生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切な時期です。(幼稚園教育要領) 本園では、「遊びの中の学び」を大切に、一人ひとりの子どもが自ら考え、感じ、表現する力を育てています。ごっこ遊びや自然物を使った遊び、体を動かす遊び、友達とのやり取り、様々なことに挑戦する気持ちなど、日々の小さな体験の中に子どもたちの学びがたくさん詰まっています。

先月、来年度の入園説明会を行いました。その中で、文部科学省作成の「幼児期の大切な学びが分かる動画シリーズ」の中から「幼児教育は何のため?」「遊びは学び」ってどういうこと?という動画をご紹介します。幼児期に大切な学びについて、また遊びを通して子どもたちがどのように学びを深めているのか、またその学びが小学校の学習にどうつながっていくのかなど、園での実際の体験や先生方の工夫などが分かりやすく紹介されています。ご家庭でも視聴いただくことで「我が子の育ち」を改めて考える機会としていただけたらと思います。日々の遊びや体験を振り返りながら、お子さんとの遊びや関わりをより楽しむきっかけにいただけたら幸いです。

運動会という大きな行事を終えて、一人ひとりの子どもたちがまたひとまわり大きく成長し、“自分は何でもできるぞ!” “新しいことにも挑戦してみよう!” “みんなで何かをするのって楽しい!” と毎日ワクワクしながら遊びを楽しんでいます。これからも、子どもたちの笑顔や小さな成長と一緒に喜びながら、丁寧に教育・保育に取り組んでまいります。保護者の皆様と共に、子どもたちの豊かな未来を見守っていけることを、とても幸せに感じています。

※幼児期の大切な学びが分かる動画シリーズ (文部科学省)

幼児教育は何のため? (約2分) <https://youtu.be/MExUaZ6M3G0?si=51gceeVJZGMVb6Ap>

遊びは学び “やってみたいが学びの芽” ～園における資質・能力の育成～ (約7分)

https://youtu.be/UxfA13XWfGo?si=rfJ7csr_8gpahm1L

☆子どもたちの様子と今月のねらい☆

3 歳児らっこ組

♡子どもたちの様子♡

運動会を経験して、体を動かすことが楽しくなってきた子どもたち。自分たちで踊った曲だけでなく、他学年の踊りの曲が流れると一緒に踊ることも楽しんでいます。

自分で選んだ遊びでは、製作や場づくりなどで周りにはいる幼児の面白そうな姿を見て、同じように作ってみたり、新たにやってみたいことを思いついたりしています。興味をもった遊びの中で他児と関わって遊ぶことを楽しむ姿も見られるようになってきました。

一方で一人ひとりが自分がやりたい思いを出すようになってきたことで思いがぶつかり、トラブルになることもあります。保育者がそれぞれの思いを橋渡しして、相手の思いに気付けるような経験を重ねています。

☆今月のねらい

○他の幼児がしていることに興味をもち、自分もしてみようとする。

○同じ場にいる幼児と簡単なやりとりをして遊ぼうとする。

○上着の着脱や袖の始末の仕方を知り、自分でやってみようとする。

◆おすすめ絵本◆

『きつねとたぬきのばけくらべ』 松谷みよ子／作 ひらやまえいそう／絵 童心社

『あきぞらさんぽ』 えがしらみちこ／作・絵 講談社

4 歳児ぺんぎん組

♡子どもたちの様子♡

運動会に向けての活動の中で、『やってみたらできた!』『嬉しい!』という気持ちを体験したぺんぎん組。憧れの年長組の衣装を自分も同じように作ってみようとしたり、「お外で虫になって飛んでくる!」「僕もこれ作りたい!」とやりたいことを見つけて遊び出したりと、一人ひとり自信がついてきています。遊びに必要なものを自分で作ることも楽しくなり、「いいこと考えた!」というつぶやきも多くなってきています。

折り返しリレーや氷鬼、じゃんけん列車では、簡単なルールの中で思い切り体を動かしたり、じゃんけんの勝ち負けに応じて動いたりすることを楽しんでいます。みんなで一緒に遊ぶ楽しさを感じながら、ルールの中で体を動かしていく心地よさを感じ始めています。

☆今月のねらい☆

○自分の思いや考えを相手に伝えながら友達と関わって遊ぼうとする。

○簡単なストーリーや遊びの流れの中で、なりきって表現することを楽しむ。

○運動的な遊びに興味をもち、自分からやってみようとする。

◆おすすめ絵本◆

『とんとんとめて くださいな』 小出淡／作 小出保子／絵 福音館書店

『さつまのおいも』 中川ひろたか／文 村上康成／絵 童心社

5 歳児いるか組

♡子どもたちの様子♡

運動会が終わり、一回り大きくなったように感じられる子どもたちです。楽しかった気持ち、もっとやりたい気持ちが続いていて、園庭でも繰り返しリレーを楽しんでいます。一緒にふしぎのまじりのフェスティバルをしたららっこ組やぺんぎん組とも、自然に関わり合って遊ぶようになっています。異年齢児の踊りや取り組みにも興味をもち、一緒に楽しむ姿が見られます。

今月は、少し長い物語絵本をみんなと一緒に楽しんだり、絵本のイメージを再現しながらごっこ遊びを楽しんだりしている姿を、少しずつ劇遊びにもつなげていきます。それぞれがお話の世界を楽しんだり、自分なりの表現を伸び伸びとしたりしながら、みんなと一緒に取り組む楽しさも経験できるようにします。

☆今月のねらい☆

○友達との共通の目的に向けて遊ぶ中で、一緒に進めていく楽しさや満足感を味わう。

○友達と考えを出し合って工夫することで、遊びがより面白くなることを感じる。

○絵本や物語に親しみをもち、想像を豊かにして聞いたり表現したりする楽しさを味わう。

◆おすすめ絵本◆

『おおきな おおきな おいも』 赤羽 末吉／作・絵 福音館書店

『ふたりはともだち』 アーノルド・ローベル／作 三木卓／訳 文化出版局